

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-375-1050(内線6910)

年度	平成30年度		
施設名	新潟市月潟地区公民館	所管部・課	教育委員会中央公民館
施設の設置目的	市民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的に、公民館を設置する。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	H30.6.18
歳入	130	正職員	2	修正日	
歳出	4,929	非常勤	1	評価日	R1.6.28

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価
			項目	H27実績	H28実績	H29目標	H30目標				
1	市民	主催事業を広報することにより認知度を高め市民が参加し易いよう利便性を図ります。	地区内無線放送等で広報実施。 単位:(回)	20	20	20	20	25	高齢者月寿教室、つきがた映画むら、世代間交流、他	多くの参加を促すため、各団体への事業周知を徹底するとともに行政無線を活用し、事業周知を図った。	B:達成
2	市民	快適に、利用し易い施設管理につとめ、目標利用者数を達成します。	年間利用者数2,500人以上。 単位:(人)	3,010	2,858	2,900	2,900	3,289	主催事業、貸し館業務	新たな主催事業を実施し、公民館の稼働率の向上を図ったこと。事業PRにより事業参加者が増加した。	B:達成
3	市民	快適に、利用し易い施設管理につとめ、目標稼働率を達成します。	各部屋の年間平均稼働率6.5%以上。 単位:(パーセント)	8.6	8.1	8.1	8.1	9.6	主催事業、貸し館業務	新たな主催事業を実施し、公民館の稼働率の向上を図ったことにより、目標を達成した。	B:達成
4	市民	利用者からの苦情・要望に対して迅速かつ適切に対応します。	クレーム対応を勤務日5日以内に回答。 単位:(回/5日)	0	0	0	0	0		クレーム等の対応事例はなかった。	B:達成
5	市民	市民ニーズに対応した事業の展開を図ることから、事業参加満足度80%を目標とします。	事業に対するアンケート満足度80%。 単位:(パーセント)	80	80	80	80	95	女性セミナーおんがっ子塾、料理教室、高齢者月寿教室	4事業でアンケート調査を実施した。	B:達成
6	財務	業務の効率化を図り、施設利用者一人当たりの運営費の削減を図ります。	利用者一人当たり1,600円以下。 単位:(円)	1,524	1,609	1,600	1,600	1,388	維持管理費	施設維持管理費の効率的執行に努めると共に利用人員の増加により目標を達成した。	B:達成
7	業務	安全確保体制の確立から、防災訓練を実施します。	消防防災訓練年2回以上。 単位:(回)	1	2	2	2	2	防火訓練	有事に備え、防災訓練を実施した。	B:達成
8	業務	安全確保体制の確立と適正な施設維持管理で事故発生を防止します。	事故件数年間0件。 単位:(件)	0	0	0	0	0	施設の点検整備や維持管理	日常から施設の点検整備をおこなった結果事故発生を防止した。	B:達成
9	人材	職員研修を実施し市民ニーズに対応できる資質の向上を図ります。	1回以上の職員研修実施。 単位:(回)	5	5	5	5	5	公民館職員研修等	研修により職員の資質向上につながった。	B:達成
10	人材	公正な職務の遂行や法令遵守などコンプライアンス研修を実施します。	1回以上のコンプライアンス職員研修実施。 単位:(回)	1	1	1	1	1	コンプライアンス研修	年1回ではあるが、コンプライアンス研修は職員の意識づけに有効であった。	B:達成

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<ul style="list-style-type: none"> 地域課題に対応した事業を推進するために、積極的に地域に出かけ情報収集に努めるとともに、職員研修などで資質の向上を図り事業参加者の満足度向上を目指します。また、事業の認知度を高めて市民が参加し易いように活発な広報活動を行います。 適切な施設の維持管理に努めるとともに、利用者からの苦情・要望に対して迅速かつ適切に対応し利用し易い施設に努め、稼働率、利用者数の向上を目指します。 業務効率化と運営費節減に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 快適で利用しやすい施設を心がけたことにより苦情もなく維持管理上の事故もなかった。 公民館の利用を市民に促すため、事業PRを徹底するとともに新規事業を実施したことにより、利用人員、稼働率も前年を上回ることができた。 職員研修が職員の資質と情報共有に役立ったほか、コンプライアンス研修はコンプライアンス意識の高揚となった。研修以外にも職場内のミーティングで情報共有に努めた。